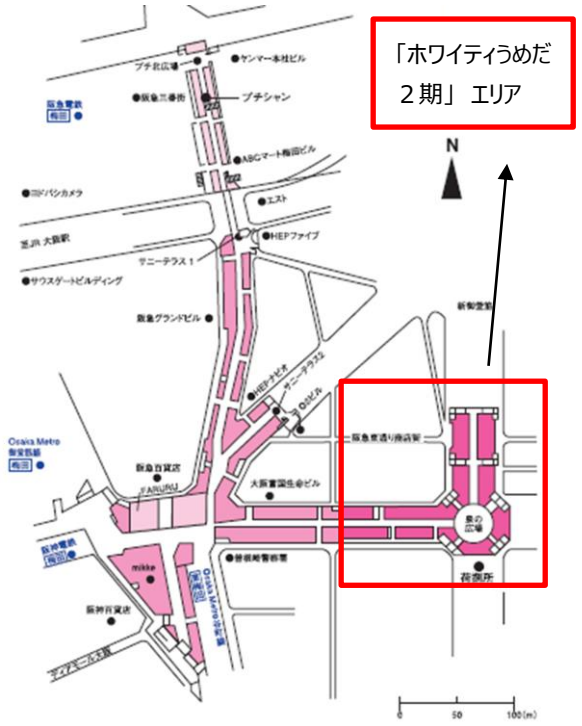
大阪地下街株式会社では、本年５月初旬より「ホワイティうめだ」の一部のエリア「ホワイティうめだ２期」において、実質的な建て替え工事に相当するスケルトン化による大規模リニューアル工事に着手し、防災機能や快適性を飛躍的に高めてまいります。こうした地下街の大規模リニューアルは、再開発事業によるものを除き全国初の取り組みとなります。

今後も安全・安心・快適でお客様に愛される地下街を目指し、その他の地下街においてもリニューアル事業に取り組んでまいります。

## ■工事概要

所在地：大阪市北区小松原町・堂山町　梅田地下街
総面積：８，８６４㎡、店舗面積：３，１４０㎡（予定）
店舗数：３５店舗予定　　業種業態：飲食、食物販
工　期：２０１９年５月初旬～２０１９年１１月　６か月間の全面閉鎖工事を予定
＊全面閉鎖工事のため、「ホワイティうめだ２期」エリアは通行が出来なくなります。
その他のエリアは通行可能です。
総事業費：５８億円

**ホワイティうめだ**




【工事内容】

●防災機能の向上
大規模地震に備え、柱の耐震補強や老朽化が進んだ壁面の補強を行うと共に、火災時に被害の拡大を防ぐ防火区画の再構築や、速やかに煙を排出する排煙設備の抜本的改修と円滑に地上へ避難するための防災上有効な広場の整備などを行います。また、万が一地下街が浸水しても避難に必要な照明等を確保するため、非常用発電機を地上へ設置するなど、防災機能が飛躍的に向上いたします。

●快適性の向上
エスカレーターの設置、トイレのリノベーション、空調設備の更新、分煙化の推進と共に、照明による演出など快適性についても向上を図ります。

●セキュリティの強化
防犯カメラを増設すると共に、防災センターの機能充実など更なるセキュリティ強化を図ります。

## ■コンセプト・ゾーニング

**梅田地区の東端に新たな飲食店エリアが誕生**

３５店舗の飲食･食物販店を集積

**開発コンセプトは、大阪の食文化を感じ、歩くのが快適で楽しい“道”**

梅田地区の東端に新たに誕生する３５店舗の「食」エリアは「扇町ゾーン」「泉の広場ゾーン」「新御堂筋ゾーン」に分かれています。「扇町ゾーン」は大通りをイメージし、昼食需要を見込む毎日利用できる場所。「泉の広場ゾーン」は人が集う広場でもありそれぞれのゾーンを繋ぐ場所。コンセプトカフェやベーカリーカフェを集積し５ミールに対応します。「新御堂筋ゾーン」はバル街。カウンター席中心のお店やスタンディングバル等、様々な業種業態の店舗が軒を連ね賑わいを創出します。

現顧客に加え、これまで取り込みの弱かった２０代、３０代の男女を新規顧客として取り込み幅広い世代にとって魅力的なエリアを提供します。

また、ホワイティうめだ２期エリアは通路、店舗内を全面禁煙とし、エリア内に２か所喫煙室を設け、環境に優しいエリアを目指します。

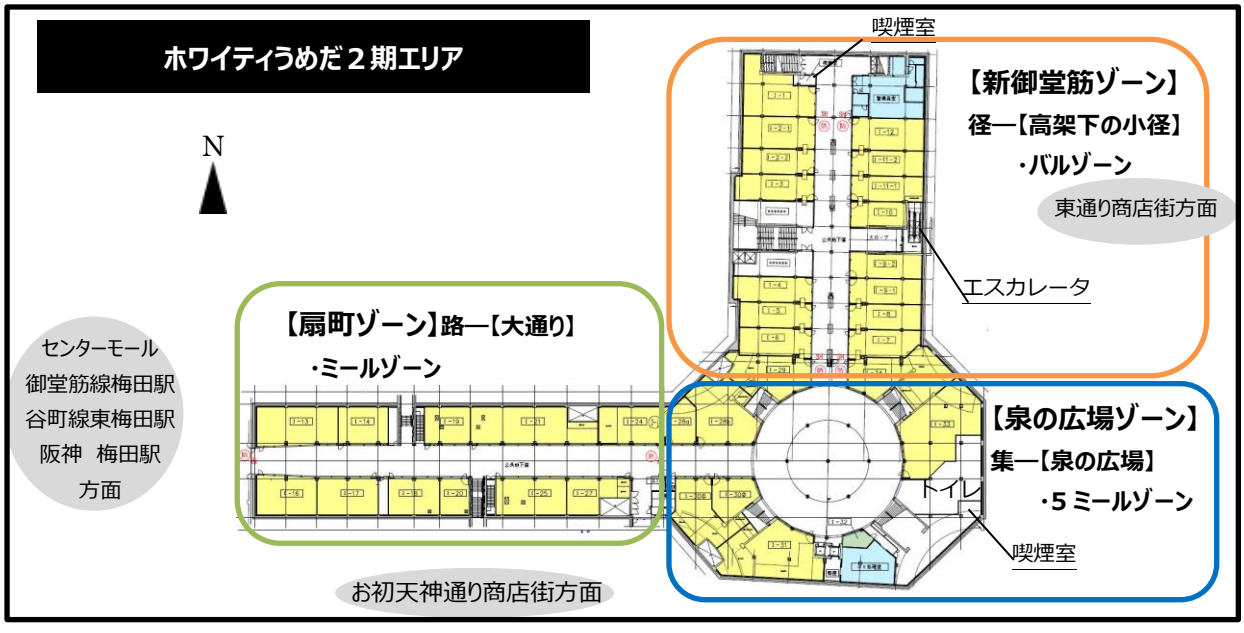
【開発コンセプト】

**～大阪の食文化を感じ、歩くのが快適で楽しい“道”～**

人工的な空間を地下の空間と感じさせない快適で楽しい「道」を表現し、利用されるお客様に、ここで美味しいものを“食べたい・買いたい・集いたい”と感じていただきながら奥へ奥へと進みたくなる、飲食店・食物販店を集積したストリート型「食」エリアを目指します。

テナント構成は**「大阪ならではの多彩な「食」の賑わい」**をコンセプトに、全国各地から集まるこだわりの食材や料理、お酒を、それぞれの利用シーンにあわせてお楽しみいただけます。

環境デザインは**「広場へつながる“道”」**をコンセプトに、広場・通りそれぞれの役割・規模をデザインストーリー化。通過するだけの通路から人が親しみ歩く“道と広場“へ変わります。



### ◆「扇町ゾーン」◆コンセプト word　路―【大通り】　（ミールゾーン）

●梅田の各主要駅とつながるメイン通りでもある「扇町ゾーン」は両側に並ぶ個性豊かな店を楽しく眺めながら、立ち寄りながらゆっくりと散策を楽しむ大通り。床は中央と両サイドを２種のタイルで貼り分けた通路。両サイドを石畳風にし、歩く速度をゆるめていただく工夫をします。天井はイチョウのレリーフを施しスリットを入れリズム感を持たせ街歩きを楽しむ空間を創出します。
●テナント構成は、昼食需要を見込み、体にいい定食や、時間のない時にサクッと食べることのできる専科店等ミール中心の店舗を集積し、日常に利用する人のライフスタイルに組み込まれた毎日でも利用できる場所を目指します。

<改装イメージ>

### ◆「泉の広場ゾーン」◆コンセプト word　集―【泉の広場】　（５ミールゾーン）

<改装イメージ>

●「扇町ゾーン」と「新御堂筋ゾーン」の二つの通りと地上をつなぐ「泉の広場ゾーン」は人を集め、滞留するシンボル広場。床は広場中央から円形状に広がるパターンを施し、天井の中央には広場のシンボルモニュメント「ＷＡＴＥＲ　ＴＲＥＥ」（仮称）を配し、水を使わず、ＬＥＤ制御による水を演出します。
●テナント構成は、コンセプトカフェやベーカリーカフェを集積し、モーニング、ランチ、アフタヌーンティー、ディナー、アフターディナーと５ミールに対応しており、お客様の使い勝手に応じ“お好きなように”お客様が利用するサードプレイスを目指します。

### ◆「新御堂筋ゾーン」◆コンセプト word　径―【高架下の小径】（バルゾーン）

●ホワイティうめだの東端から更に泉の広場を曲がる「新御堂筋ゾーン」は新御堂筋の高架下を地下につなげたバルの並ぶ小径。床はモルタル風のタイル。両サイドは「扇町ゾーン」と同じ石畳風のパターン。スケルトン天井にはワイヤーに吊るしたダウンライト照明が下がり、店舗側の軒下を木調にしハードな空間を和らげます。
　また、エスカレーターを新たに設置し地上とのアクセスを大幅に改善します。
●テナント構成は、カウンター席中心のお店やスタンディングバル等、様々な業種業態の店舗が軒を連ねる賑わいのあるゾーン。こだわりのメニューやお酒を提供する、何度でも行きたくなる個性豊かなバル街を目指します。

<改装イメージ>

### ■全体照明計画

～調光調色を取り入れた光計画　―　屋外の光の移ろいを演出～

　外光（自然光）の移り変わりに合わせて、地下街でも時間の流れを表現します。
時間帯により照度（明るさ）と色温度を調整し、地下街にいながら朝、昼、夜を感じる演出をします。「扇町ゾーン」の照度は明るく大通りをイメージする５００～６００lx。「泉の広場ゾーン」の照度は５００～６００lx を基本にイベント時にはイベントの演出と連動して多彩なシーンをつくり記憶に残る情景をつくります。「新御堂筋ゾーン」は「扇町ゾーン」に比べやや照度をおさえ全体的に光色を暖色系にすることで温もりを演出しダウンライトと店舗の灯りで“飲みに行きたくなる”雰囲気を創り出します。

■演出

## 「泉の広場ゾーン」の新たなシンボル
## 水と木が合わさった生命の「ＷＡＴＥＲ　ＴＲＥＥ」（仮称）
## 名称「泉の広場」は継承

【初代】1970 年

【２代目】1981 年

【現在】2002 年

１９７０年の「ホワイティうめだ２期」エリアオープン以来「泉の広場」には噴水が設置され、半世紀かけて行きかう人々の記憶に残る場所（泉の広場）となりました。ここは、今も昔もこれからも人が「集う」大切な場所。人が出会い、集まり、別れるそんな起点となる場所に「生命の木」を立てます。
「泉の広場」の名称を継承した新たな「泉の広場」では、“水”をイメージした水と木が合わさった生命の「ＷＡＴＥＲ　ＴＲＥＥ」（仮称）をシンボルとして生まれ変わります。

**改装イメージ**

・プログラム制御したフルカラーＬＥＤ照明がステンレス鏡面仕上げをした枝と葉に反射し、光の演出による「ＷＡＴＥＲ　ＴＲＥＥ」(仮称)を表現します。
　一つ一つの造作照明が水の流れを表現し、その集合体が木のオブジェとなるような造形となります。

・床にはゆらゆらと動く照明を利用し水面を表現します。

「ＷＡＴＥＲ　ＴＲＥＥ」（仮称）は時間帯により変化します。白から「泉」を象徴する青へ、床には水面が揺らめき「泉の広場」を水で包み込みます。
また、季節やイベントに合わせて変化し「泉の広場」を彩ります。

### ■サルベージアート「新御堂筋ゾーン」

「新御堂筋ゾーン」の突き当りの壁面には、一度役割を終えたホワイティうめだや Osaka Metro の廃材、調理器具や缶類等の廃材が再び大きな木やそこに住む動物たちに模したサルベージアートに生まれ変わります。
**「地下に昔からあった木が、新しく枝を伸ばし道や地下街へ広がっていく」**をコンセプトに新たな壁面が「新御堂筋ゾーン」を彩ります。

■参考

●設計施工会社：株式会社大林組

●環境デザイン：株式会社リックデザイン

●「泉の広場ゾーン」の空間演出「ＷＡＴＥＲ　ＴＲＥＥ」（仮称）：株式会社ネイキッド

●「新御堂筋ゾーン」の奥壁の演出　：現代美術家「富田菜摘」

■ホワイティうめだ施設概要

所在地：大阪市北区曽根崎 2 丁目梅田地下街 5-5 号

来街者数：400,000 人

営業面積：13,720 ㎡

店舗数：191 店舗（2019 年 1 月 31 日現在）

年　商：193 億円（2017 年度実績）

■ホワイティうめだのあゆみ

・1963 年 11 月 29 日：現ホワイティうめだ**１期**は、
ウメダ地下センター（愛称：うめちか）として誕生

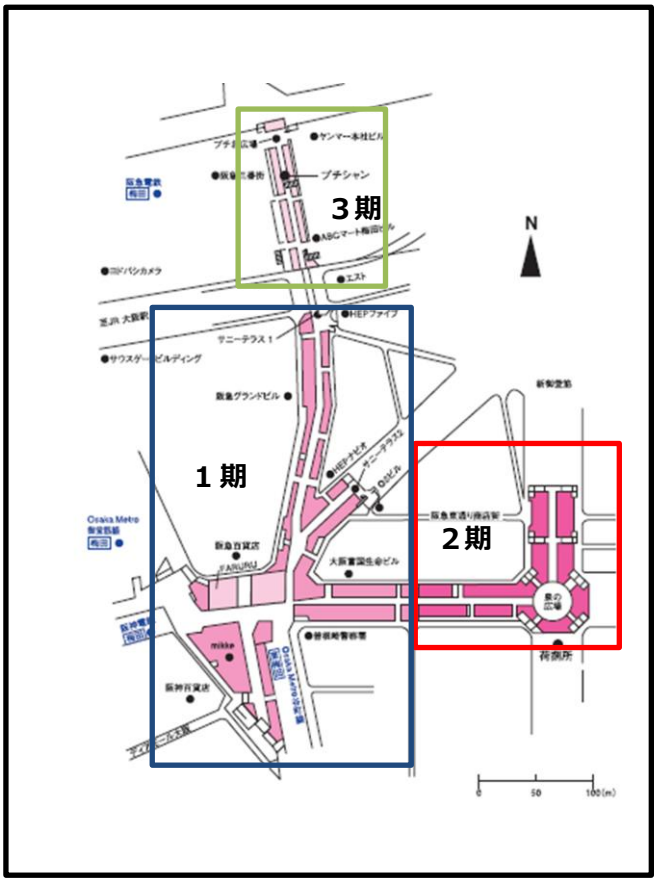
・1970 年 3 月 20 日：ウメダ地下センター延伸部分
現ホワイティうめだ**２期**（泉の広場方面）竣工

・1974 年 8 月 28 日：ウメダ地下センター延伸部分
現ホワイティうめだ**３期**（プチシャンゼリゼ）竣工

・1987 年 4 月 24 日：ウメダ地下センターから
「ホワイティうめだ」に改称し　リニューアルオープン

・2008 年 11 月 28 日：阪急百貨店の建て替えに合わせて
ファッションロビーを「ＦＡＲＵＲＵ」にリニューアルオープン

・2014 年 10 月 10 日：ファンシーロビーを「ｍｉｋｋｅ」にリニューアルオープン




問合せ：リニューアル推進課　　安藤・薗村

大阪地下街株式会社

〒530-0018　大阪市北区小松原町 2-4 大阪富国生命ビル 19 階
ＴＥＬ06-6948-6190　ＦＡＸ06-6312-6550